

私学いばらき

発行 茨城県私立中学高等学校
保護者会連合会
(茨城県私学協会内)
〒310-0911 水戸市見和 1-356-2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029-226-1224・FAX 029-226-1273
ホームページアドレス
<http://www.ibaraki-shigaku.jp>



「未来に向けて」

令和3年度
茨城県私立中学高等学校保護者会連合会
会長 大沼裕子

皆様こんにちは。平素は県私保連にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。前会長の早瀬純子様より引き継ぎ、令和3年度県私保連の会長を務めさせていただきました鹿島学園高等学校の大沼です。

昨年度は、ほとんどの事業が中止や書面審議となりましたが、今年度は、県私保連総会、関東地区私学保連理事会及び日私学保連臨時総会・青少年育成研修会が例年通り開催されました。

また、私学振興全国大会も人数制限を行った上で開催され、大会前の都道府県会長会に引き続き茨城県の会長として参加することができました。

新型コロナウイルスの感染拡大から新たな「ニューノーマル」時代が始まって、すでに2年が過ぎました。刻々と変わる状況に応じて新しい「常識」や「マナー」

が生まれたり、人付き合いのあり方、家族との向き合い方などさまざまな変化が見られるようになりました。

職場や学校においては、ICTの急速な普及により「テレワーク」や「オンライン授業」が行われるようになり、便利になったと感じることが多々ありました。それでも、学校再開で子どもたちが元気に登校する姿や、楽しそうに明るい笑顔で友だちと接する姿を見ると、やはり直接会ってコミュニケーションをとることが大切なのだと改めて感じさせられました。

この未曾有の状況でも、子どもたちは、模索しながら成長を続けています。このような時だからこそ、生きる力、助け合う心を身につけて欲しいと切に願います。そのためには、私たち保護者は学校との連携を深め、子どもたちをさまざまな面からサポートしていくことが重要なのではないかと考えております。

県私保連は、私学協会とともに、社会情勢や時代に沿った支援をして参ります。

まだまだ新型コロナウイルス感染は終息する兆しが見えませんが、止まない雨はありません。子どもたちの明るい未来のため、各自が今できることに力を注ぎ行動するべきだと思います。今後とも県私保連の活動にご協力いただければと思います。

県私保連について

茨城県私立中学高等学校保護者会連合会(略称「県私保連」)は、県私保連の前身となる茨城県私学父母の会が、昭和57年、全国私学父母の会(現在の「日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会」)と協調し、父母自身の問題を父母の立場で解決する場を求めて発足しました。平成19年には、現在の名称に変更し、発足から一貫して、茨城県私学協会・県私保連・茨城県高等学校PTA連合会私学部会(略称「私学部会」)の私学三団体が連携・協調して私立高等学校等経常費助成に関

する請願・陳情の活動をしてまいりました。

平成22年5月、全国組織をはじめとする関係団体との連携を強化するために、県私保連は私学部会と統合して、現在の県私保連を設立しました。

県私保連は「私立学校助成の拡充及び保護者の教育費負担の軽減に向けての運動推進」を主要な事業に掲げ、主に私学助成に対する充実強化のため毎年活動を進めております。

令和3年度役員

- 会長……大沼裕子
(鹿島学園高等学校PTA会長)
- 副会長……山ノ内健二
(つくば国際大学高等学校PTA会長)
- 副会長……石塚孝男
(鹿島学園高等学校校長)
- 理事……軍司雅明
(常磐大学高等学校PTA会長)

- 理事……會田愛子
(土浦日本大学中等教育学校保護者と教師の会会長)
- 監事……早瀬純子
(岩瀬日本大学高等学校父母と教師の会顧問)
- 監事……吉田邦孝
(岩瀬日本大学高等学校校長)

令和3年度事業報告

(1) 茨城県私立中学高等学校保護者会連合会総会

6月15日	会 場：ホテルレイクビュー水戸	出席者：68名
-------	-----------------	---------

- 議題1 令和2年度事業報告
議題2 令和2年度収支決算
議題3 令和3年度役員を選任(案)
議題4 令和3年度事業計画(案)
議題5 令和3年度収支予算(案)
- 全議題について可決された。

(2) 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会理事会(代表者会)千葉大会

6月25日	会 場：三井ガーデンホテル千葉	出席者：本県より5名出席
-------	-----------------	--------------

- 議題1 関東地区私学保連「会長・副会長」及び日私学保連「理事候補者」の選出について
議題2 関東地区私学保連令和2年度事業報告及び収支決算報告(案)並びに
令和3年度事業計画及び収支予算(案)について
議題3 令和3年度関東地区私学保連代表者会及び研修会開催計画(案)
議題4 日私学保連「青少年育成研修」関東地区開催(令和3年度)について
- 全議題について可決された。

(3) 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会代表者会及び研修会千葉大会

書面開催

各県私学保連会報等の関係資料配布による活動報告・情報交換

(4) 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会総会

書面審議

- 議題1 令和2年度事業報告
議題2 令和2年度決算
議題3 令和3年度事業計画(案)
議題4 令和3年度予算(案)
議題5 令和3年度役員(案)
議題6 令和4年度総会・研修会、青少年育成研修会の開催
について
- 全議題について可決された。

(5) 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会臨時総会・青少年育成研修会(神奈川県)

11月19日	会 場：崎陽軒本店	出席者：本県より1名出席
--------	-----------	--------------

- 臨時総会 令和2年度事業報告「コロナ下における本会の活動について」
研 修 会 第1部 講演「修学支援センター設立の取り組み」
講師 工藤 誠一 先生
(神奈川県私立中学高等学校協会理事長・聖光学院中学校高等学校理事長・校長)
第2部 報告「私立高校の現状と問題点」
講師 福島 康志 氏
(日本私立中学高等学校連合会事務局長)
第3部 講演「横浜シウマイ物語」
講師 野並 直文 氏
(株式会社崎陽軒取締役社長)

(6) 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会功労者表彰

茨城県の会長を退任された早瀬純子様(令和2年度茨城県会長・岩瀬日本大学高等学校)の在任中の功績を称え、日私学保連門傳会長から感謝状が贈られました。

私学助成に関する請願・陳情



県私保連は私学協会役員と共に私学助成に関する請願・陳情を行いました。

(1) 11月24日(水) 私学振興全国大会・国会議員への陳情(東京メルパルクホール)

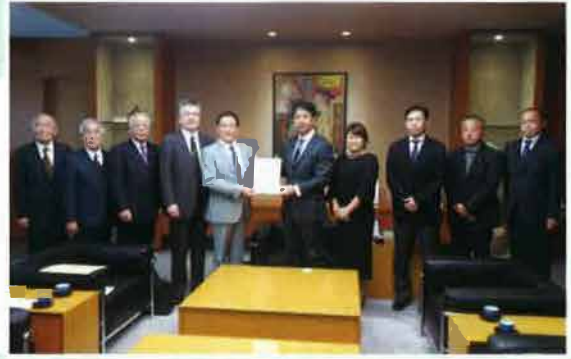
私学助成への保護者の願いと公教育における公私間の様々な格差是正を目指す決議が行われ、閉会後は大会決議をもって県選出国会議員への陳情を行いました。

(2) 11月24日(水) 県議会・自民党県連への請願・陳情

(3) 12月1日(水) 県知事・県総務部長への陳情

【要望事項】

- 1 経常費補助金について
- 2 高等学校等授業料減免事業の拡充について
- 3 教職員研修に対する支援について
- 4 新型コロナウイルスの影響に対する保護者支援について



請願審査結果

県私保連が私学協会とともに県議会議長に提出した「令和4年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願」が採択された旨の通知を令和3年12月10日付で同議長よりいただきました。

表彰

功労者表彰



毎年度、会員保護者会及び県私保連の役員を退任された方の在任中の功績を称える表彰を行っています。

令和3年度は各会員保護者会会長からの推薦による功労表彰20名並びに県私保連役員等への特別功労表彰6名の計26名に感謝状を授与しました。

● 功労(会員保護者会)

明秀学園日立高等学校	榎田武伯
茨城キリスト教学園中学校	塚元康輔
大成女子高等学校	泉聡太郎
水戸女子高等学校	生田目智子
水城高等学校	大森幹司
水戸葵陵高等学校	川崎俊一
岩瀬日本大学高等学校	早瀬純子

霞ヶ浦高等学校	櫻井繁行
霞ヶ浦高等学校	池邊睦
霞ヶ浦高等学校	大関裕子
霞ヶ浦高等学校	武藤直美
霞ヶ浦高等学校	小出優子
霞ヶ浦高等学校	小松有子
霞ヶ浦高等学校	嶋田文江
土浦日本大学高等学校	小澤依里
土浦日本大学中等教育学校	奥沢貴司
東洋大学附属牛久中学校・高等学校	飯野豊
常総学院中学校高等学校	亀山桂枝
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校	文道貴徳
つくば秀英高等学校	齊藤正行

(敬称略)

● 特別功労（県私保連役員等）

榎田 武伯	………	会長・副会長・監事	明秀学園日立高等学校
矢野 正彦	………	副会長・監事	明秀学園日立高等学校
齊藤 克朗	………	副会長	岩瀬日本大学高等学校
星野 智子	………	理事	水戸英宏中学校
吉田 正一	………	理事	常総学院中学校高等学校
檜村 敦雄	………	幹事	明秀学園日立高等学校

（敬称略）

善行生徒表彰

県私保連加盟校の校長からの推薦により、他の模範となる活動をした個人24名と4グループを称える善行生徒表彰を行いました。表彰式は中止となりましたが、各校の校長先生から表彰状を授与していただきました。

個人表彰

24名

茨城キリスト教学園高等学校 … 山口 太 瑠



茨城高等学校	………	原 口 寧 音
茨城高等学校	………	尾 竹 梓
茨城高等学校	………	桐 原 未来海
茨城高等学校	………	石 井 理 宝
茨城高等学校	………	井立田 日 香
茨城高等学校	………	大 竹 広 高
茨城高等学校	………	会 沢 埜々子
茨城高等学校	………	大和田 敬 之
茨城高等学校	………	小 澤 優 介

水戸葵陵高等学校	………	佐々木 颯 大
水戸葵陵高等学校	………	千 代 怜 摩
水戸葵陵高等学校	………	吉 田 広 大



水戸英宏中学校	………	門 島 育 磨
水戸英宏中学校	………	青 谷 叡太朗
水戸英宏中学校	………	青 谷 禮太朗



岩瀬日本大学高等学校 …………… 渡 邊 太 揮
 岩瀬日本大学高等学校 …………… 秋 元 龍 治
 岩瀬日本大学高等学校 …………… 内 田 大 遥



つくば国際大学高等学校 …………… 風 見 梨 菜
 つくば国際大学高等学校 …………… 黒 田 鈴 葉



江戸川学園取手中学校 …………… 土 居 亮 太
 江戸川学園取手高等学校 …………… 松 本 和 輝



常総学院高等学校 …………… 及 川 真 弥



グループ表彰

4グループ

● 明秀学園日立高等学校 ……………

女子バスケットボール部



● 明秀学園日立高等学校 ……………

自己探求課外「明秀記者クラブ」



● 茨城キリスト教学園高等学校 ……………

インターアクトクラブ



● 土浦日本大学高等学校 ……………

特別進学コース1学年



私学助成について

茨城県内の私立学校に通う生徒を持つ、私たち保護者の教育費負担軽減を目的としている主な私学助成のご紹介

私立高等学校等経常費補助金

私学助成の主なものが「経常費補助金」です。経常費補助金は、私立学校の経営の健全化、教育条件の維持向上及び就学上の保護者負担の軽減を目的として県から私立学校に補助されています。

令和4年度は高校生1人当たり373,415円（中等教育学校後期課程同額）・中学生1人当たり342,149円（中等教育学校前期課程同額）の予算が措置されました。

なお、補助金の配分は、学校の規模（生徒数、教職員）等により算定した金額を交付しています。

（生徒1人当たりの補助金予算単価の推移）

県私学振興室資料（単位：円）

学校種		令和2年度	令和3年度	令和4年度
高等学校		364,428	368,334	373,415
中等教育学校	後期			
	前期	333,310	337,153	342,149
中学校				
通信制高等学校（狭域通信制）		79,187	80,082	80,082

注）通信制高等学校への補助金額は、狭域通信制の高等学校への県補助金額です。広域通信制の場合は国からの直接補助になります。

私立高等学校等就学支援金

家庭の経済状況に関わらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、教育費負担の軽減を図ることを目的に授業料の一定額が「高等学校等就学支援金」として国から支給されています。

○高等学校（全日制課程）の生徒の場合

- ・高等学校等就学支援金は、年収約910万円未満世帯に、月額9,900円（年額118,800円・県立の授業料相当分）支給されます。
- ・年収約590万円未満世帯については、月額33,000円（年額396,000円）を上限に支援金が支給されます。

（単位：円）

保護者の年収の目安	支給額上限(年額)
590万円未満	396,000
590～910万円未満	118,800
910万円以上	—

※年収とは、保護者の内どちらか一方が働き、高校生1人（16歳以上）、中学生1人の4人世帯の目安です。

私立高等学校等授業料等減免事業

経済的理由により授業料等の納入が困難な児童、生徒を対象に授業料等の軽減措置を行う学校法人に対して県から補助金が交付されています。

注）私立学校によっては、独自の奨学金制度を実施していることなどから、本事業を実施していない場合があります。

○入学金軽減事業（高等学校全日制課程等向け）

保護者の年収の条件	補助区分	補助上限額
350万円未満	入学金	96,000円
350万円～590万円未満	入学金	48,000円

○授業料軽減事業（小中学校向け）

保護者の年収の条件	補助区分	補助上限額
400万円未満	授業料	302,400円

私立高等学校等奨学給付金

すべての生徒が安心して教育を受けられるよう、低所得世帯（市町村民税所得割額が非課税の世帯）の生徒に対して奨学のための給付金（授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費等）が県から支給されています。

注）保護者等が茨城県内に在住していることが支給の要件となります。

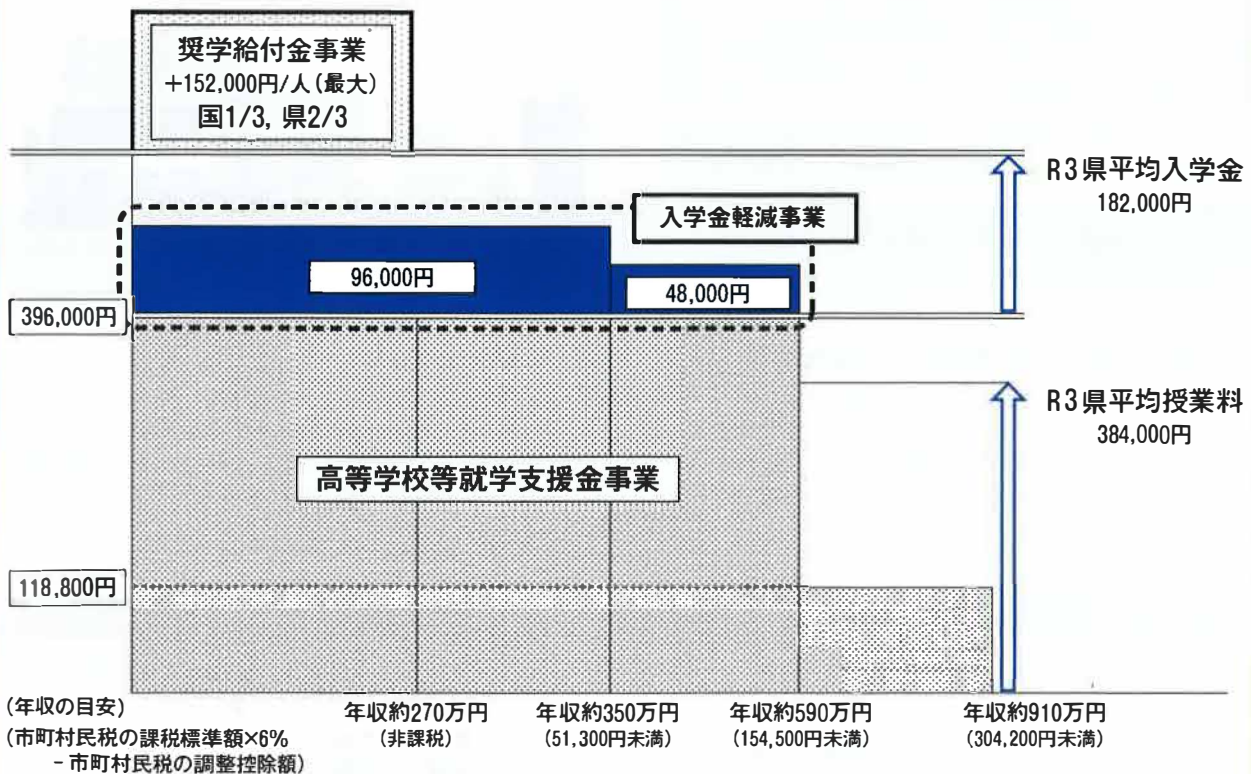
県私学振興室資料（単位：円）

世帯区分	支給額
生活保護受給世帯（全日制等・通信制）	52,600
非課税世帯（全日制等（第1子））	134,600
非課税世帯（全日制等（第2子以降））	152,000
非課税世帯（通信制）	52,100
生活保護・非課税世帯（専攻科）	52,100

参考

私立高等学校等就学支援金・授業料減免事業のイメージ図

（高等学校全日制の場合）



- (注) 1 奨学給付金は授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費を支援する事業
 2 就学支援金は授業料の負担軽減する事業
 3 年収は、保護者のうちどちらか一方が働き、高校生1人、中学生1人の4人世帯の目安

会員校紹介

常磐大学高等学校

本校は「実学を重んじ真摯な態度を身につけた人間を育てる」という建学の精神のもとに、大正11(1922)年、水戸常磐女学校として創立されました。2022年、高等学校としての創立100周年を迎え、6月には記念式典が予定されています。シンボルマークは、学校法人常磐大学の基本理念を表す3つのキーワード、自立、創造、真摯を象徴しており、学生、保護者、職員の三者が互いに協力しあって文化の発展・向上に寄与する姿勢を意味しています。本校では、目指す生徒像を「考え挑み続ける」と定めており、課題探究型学習を軸とした「特進選抜コース」や進路に合わせた実力を養成する「特進コース」で、それぞれの生徒が実社会をしなやかに生きる力を身につけることを目標に学んでいます。

本校の保護者会は、本部役員と学年委員・生徒指導委員会・研修委員会・広報委員会で構成されて

おり、生徒たちの健やかな成長を見守り、個性を育みあえる環境づくりに努力しています。新型コロナウイルスの感染拡大によって、活動が制限される中でも、オンラインによる役員会議や感染対策をした上での学年懇談会、常磐大学施設見学会、文化研修の古典落語鑑賞会など、会員相互の意識高揚と親睦を深める活動を工夫して実施しています。



土浦日本大学中等教育学校

本校は平成15年に土浦日本大学中学校として誕生し、平成18年には土浦日本大学中等教育学校となりました。6年一貫教育を通して、多様化する世界において格差を乗り越え、国際社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。令和4年度は節目となる第20期生を新入生として迎えられます。6年間という長い期間をかけて生徒の成長に携わりますので、一人一人の生徒や保護者との関係が深く、また卒業後も良い関係が続いております。

そんな本校の保護者会は保護者と教師の会と申します。毎年、年度当初の全校保護者会の際に役員を選出しますが、多くの方が自ら手を挙げていただき意欲的に活動して頂いています。特に文化祭の時に実施される制服リサイクルバザーは、全校の保護者

の方々に大変好評です。コロナ禍においても、笑顔絶えない活動で学校を支えていただく大切な存在となっています。



会員 令和4年4月現在 26保護者会

明秀学園日立高等学校・茨城キリスト教学園高等学校・茨城キリスト教学園中学校・大成女子高等学校・常磐大学高等学校・茨城高等学校中学校・水戸女子高等学校・水戸啓明高等学校・水城高等学校・水戸葵陵高等学校・水戸英宏中学校・清真学園高等学校中学校・鹿島学園高等学校・岩瀬日本大学高等学校・つくば国際大学高等学校・霞ヶ浦高等学校・霞ヶ浦高等学校附属中学校・土浦日本大学高等学校・土浦日本大学中等教育学校・東洋大学附属牛久中学校高等学校・愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校・江戸川学園取手中・高等学校・常総学院中学校高等学校・聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校・茗溪学園中学校高等学校・つくば秀英高等学校

令和4年度の活動予定

- 6月14日(火) 県私保連総会(水戸)
- 6月24日(金) 関東地区私学保連理事会(神奈川)
- 7月7日(木)～8日(金) 日私学保連総会・研修会(高知)
- 8月26日(金) 関東地区私学保連代表者会及び研修会(神奈川)
- 11月9日(水) 私学振興全国大会(東京)
- 11月15日(火) 県私保連研修会(水戸)
- 11月18日(金) 日私学保連青少年研修会(愛知)

編集後記

「私学いばらき」第12号をお届けいたします。新型コロナウイルスの影響に加え、ウクライナ情勢の悪化と世界経済が減速する中、教育を取り巻く状況も厳しさを増しています。しかし、このような状況だからこそ引き続き、私学助成に関する請願・陳情の活動を通し私学の重要性を訴えてまいります。今号の発行にあたり、寄稿にご協力いただいた皆様、事務局の皆様にご礼申し上げます。